

令和元年度第1回養老町地域公共交通会議 議事概要

●日時 令和元年7月17日(水) 14:00～15:30

●場所 養老町役場 4階大会議室

●出席者〔委員〕

中部運輸局岐阜運輸支局	鈴木 隆史
岐阜協立大学学長	竹内 治彦
岐阜県庁都市建築部公共交通課	水野 昭人
大垣土木事務所施設管理課	金森 隆史
養老警察署交通課	大熊 秀則
大垣警察署交通第一課	長谷川 誠
海津警察署交通課	荒木 明弘
名阪近鉄バス(株)	山田規光久
スイトトラベル(株)	西川 勝則
岐阜近鉄タクシー(株)	石間 正
養老線管理機構	伊藤 要一
養老鉄道(株)	植松 知也
岐阜県バス協会	上嶋 英樹
名阪近鉄バス労働組合	太田 智和
養老町区長連絡協議会	安田 澄雄
養老町老人クラブ連合会	大橋 正典
大垣市生活環境部生活安全課	馬淵 義昭
大垣市上石津地域事務所	堀本 直紀
海津市市民環境部市民活動推進課	小野澤孝則
輪之内町	西脇 元彦
養老町長	大橋 孝
養老町産業建設部長	田中 一也

〔随行者〕

名阪近鉄バス(株)	三好 高広
大垣市生活環境部生活安全課	西川 智樹
海津市市民環境部市民活動推進課	大橋 直之

〔事務局〕

養老町産業建設部建設課	高橋 正人
養老町総務部企画政策課	松岡 弘泰
養老町産業建設部企業誘致・商工観光課	川地 憲元

養老町産業建設部建設課	古川 一夫
養老町総務部企画政策課	伊藤 良彦
養老町産業建設部建設課	香川 明美
養老町産業建設部建設課	谷江 佑介
養老町産業建設部企業誘致・商工観光課	岩田 英之

●欠席者	岐阜国道事務所大垣維持出張所	蒲 雅志
	大垣タクシー（株）	大角 勇雄
	養老町老人クラブ連合会	澁谷 八代子

- 議題 報告事項 1 平成 30 年度地域公共交通確保維持改善事業の評価結果について
- 協議事項 1 養老町地域公共交通網形成計画の策定について
- その他 令和元年度第 2 回会議の開催について

●議事

報告事項 1 平成 30 年度地域公共交通確保維持改善事業の評価結果について

○事務局から説明

(資料 1-1 調査事業（計画策定事業）事業評価要約版（30年度）

資料1-2 平成30年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要 に基づき説明)

・平成31年2月21日に国実施の第三者評価委員会にて、公共交通網形成計画の策定について、報告し評価を受けました。養老町の現況や具体的な取り組みとして、町民アンケートの回収率が40.9%得られた点や地域懇談会で地域の生の声を聞いたことより本町の地域公共交通の問題点、課題の把握が出来た点を評価委員に対し説明しました。アピールポイントとして、8区域での地域懇談会実施について、また、オンデマンドバスについては養老鉄道、隣接市町の公共交通との接続により、利便性の確保を図っていること、これまでの運行記録などを参考に、乗合率を高め、効率的で利便性の高い運行に向け、利用の多いところではセミデマンド運行の実証実験を行って行きたい旨を報告しました。

平成31年4月22日付で中部運輸局より二次評価結果について通知があり、各種調査をスケジュール通りに実施していること、養老線交通圏地域公共交通網形成計画との調整を図っていること、そして本公共交通会議において結果や考査等議論を実施している点が評価された。

また、オンデマンドバスについては、接続について課題も見受けられるので今後の事業設計に期待しますとのご意見でした。広域的な移動を担うバス路線等については関係市町との連携した取組みを期待するとのご意見でした。

協議事項1 養老町地域公共交通網形成計画の策定について

○事務局から説明

- (資料2 令和元年度地域公共交通網形成計画策定に係るスケジュール
- 資料3 第4回養老町地域公共交通会議における主な指摘事項と対応方針 (案)
- 資料4 養老町地域公共交通網形成計画 (案) (抜粋) に基づき説明)

- ・令和元年度 地域公共交通網形成計画策定に係るスケジュール
網形成計画 (案) の検討 11月末までの予定
パブリックコメント 12月に実施、1月に意見を集約
地域公共交通会議は3回開催 本日、11月、年明け2月を予定
パブリックコメントの意見を反映させ、最終の計画書を3月末までに完成
- ・前回会議において意見や指摘のあった内容について、項目ごとに再度検討し、対応方針案を作成。その内容について資料3に基づき説明。
- ・計画の目標を達成するために実施する各種施策・事業、実施主体等、アクションプログラムについて、これまでに各関係機関と協議検討しました内容について途中経過を報告。
- ・指摘事項への対応方針案と、協議検討したアクションプログラムを反映した計画案を示した。

○委員からの質問・回答、意見・提案等

・養老鉄道の目標値設定、算出方法について、カード式の交通量調査の結果を利用しているようですが、5年に2回の実施で、毎年行っていないので、毎年評価ができない。養老線交通圏網形成計画にある620万人という数字は発売実績で計算したものですので、指標を再検討していただけたらと思います。

→毎年検証できるような数値を検討いたします。

・町内バスの目標値については広域バス・オンデマンドバスが合算されている。それぞれ根拠を持って数値目標を算出されていると思うので、目標値を分けて出した方がと思います。

→目標設定について再度検討させていただきます。

・アクションプログラムについて今後詰めていくということですが、実施内容がビジョンではなく書かれている印象があります。実施内容というのは表題的なものかと思います。それで具体的な内容をというのは、最終的にどうなっていくのでしょうか。

→アクションプログラムについては、今後、検討・精査し、最終的に具体的な取り組み内容を記載していきます。

・町内の免許返納はこの半年で昨年の返納率・返納数を上回っている状況です。オンデマンドバスの割引は実施していますが、養老鉄道の乗り継ぎなどの割引支援についても今後ご検討いただけたらと思います。

・大垣市も網形成計画策定の動きがありますが、スケジュール等は。

→本年度から網形成計画の策定をスタートしており、養老町と打合せをしているところです。今後も引き続き打合せ等行っていきたいと思えます。

その他 第2回養老町地域公共交通会議の開催について

○事務局より

- ・次回会議は令和元年11月予定。
後日、書面にて案内する。